

なすび

第48号

目次

1p 年度末を迎えて
1p~4p 部活動、行事報告

今後の予定
編集後記

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢800
TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886
メール nasu-gakuen
@pref.tochigi.lg.jp
発行日 令和7年3月3日

～年度末を迎えて～

高原山からくる吹き下ろしの風に雪が舞い散る厳しい寒さを超えた今日、梅の花がほころび、草や木も若芽を吹きはじめました。時が過ぎるのは早いもので、中学三年生は卒業のときを迎えようとしています。

今年度は中学三年生が多かったこともあり、分校と各寮の職員総出で、子どもたちを応援しながら、一緒に受験勉強対策に取り組みました。

これから、那須学園を多くの子どもたちが巣立っていきます。新しい環境でも、心穏やかに、そして逞しく、健全な生活をおくれることを願い、送り出します。



◎一年を振り返って

園長 菊地 明則

那須学園の園長として役職定年の最後の一年を過ごさせていただきしました。この一年を振り返り「職員も子どもも平和に過ごせたのかな？」と考えると必ずしもそうではなかったと思います。園長として力になっていなかったことを素直に反省したいと思います。

諸先輩たちから「寮で何も問題が起らない一年はないと思え」と言われてきました。確かにこの一年でも各寮には問題の身は違っても様々なことがありました。きっとこれは家庭生活でも同じだと思います。寮は模擬家庭です。寮職員は親代わりです。様々な人生経験を経てきた大人や個性豊かな子どもたちが集まれば考え方の不一致もあればトラブルも起こります。しかし、それで良いのだと思います。家族であつても一緒に暮らしていればそういうことがつきものです。家族だからこその感情がこじれてしまうこともあると思います。だから那須学園でたくさん衝突して学習したら良いのだと思っています。その分寮職員は対応が大変になってしまうのですが、

それも仕事です。私たちの施設の格言の一つに「人間関係が結ばれる生活場面を多くせよ」というものがあります。学園に入所する子どもは概して不器用です。人間関係で損をしているな...もつと上手に振る舞えばよいのに...と感じることが多いです。以前児童自立支援施設は感化院と呼ばれていました。感情教育が大切とされていたからこそその呼称だった気がします。子どもが変わった...時代が変わった...と言われますが、教えないてはいけないことは昔も今も変わらないのだと思います。

また部活動の各大会を振り返ると、今年も数々の賞状を手にすることが出来ました。もちろん入賞することがすべてではないのですが、どの大会でも監督を中心に職員と子どもの強い心の結びつきに感動しました。職員も子どもも同じ目標に向かって突き進む姿は心温まります。文化的活動としては吹奏楽を実施しております。職員と子どもが真剣に一つの曲を奏でる姿にも感動します。子どもたちも楽器を吹くのが初めてならほとんどの職員も吹奏楽の経験はありません。主担当を中心に音楽を楽しんでほしい...とする姿勢が強くな

伝わっていました。子どもと同じ舞台に立つ・共に感動する...これが那須学園の教育です。大人も子どももみんな一緒です。同じ目標に向かい、同じく感動するから感情教育が出来るのだと思います。職員は子どもたちのためにとっても良い仕事をしてくれています。そんな那須学園です。今後ともご支援・ご理解よろしくお願い致します。

☆部活動報告☆

★バレーボール部

今年度の女子バレーボール部の集大成となる「第二回 関東女子バレーボール大会」が、一〇月二九日 東京オリンピックの会場となった東京都武蔵野の森総合スポーツラザで開催されました。

大会では、部員六名のうち一名が怪我によりベンチでのサポート係となりましたが、コートの選手と一丸となって一生懸命競技することができました。

結果は第三位でした。チームの目標『部員全員で大会に参加して優勝する』は、達成できず、悔しさが残りました。しかし、『拾って繋ぐ』『自分の役割を果たす』は、これまでに練習で取り組んできたプレーや声かけ、挨拶、ボールに向かう姿勢など、しっかりと発揮することができました。

こどもたちは、バレーボール部を通じて良い経験ができたと感じています。そして、そこから、心に得たものがひとつでも多くあるのなら嬉しく思います。



★吹奏楽部

今年度の吹奏楽も、関東少年文化祭参加、マロニエウインドオーケストラさんとの合同練習会、クリスマス会での演奏、更生保護女性会さんと地域の方々へのコンサートをしました。多大なご協力や、サポートをいただきながら、活動することができました。ありがとうございます。

挑戦した曲は、「手紙」「ブラジル」「3月9日」です。今年は担当者として、色々とうすくいかないこともあり、心が折れる日もありました。コロナで練習ができない日々もあり

ました。しかし、今年もメンバーに恵まれ、無限の可能性と、光輝センスと、やる気と、努力と、諦めない気持ちで、明るく前向きに頑張る姿に、何度も救われました。

大人とこどもが共に、真剣に取り組んで作り上げる那須学園吹奏楽部素敵な演奏による癒やしと感動をありがとう。一生懸命に取り組んでくれたこどもたちと、関わってくれた皆様に感謝いたします。



★卓球部

一二月四日、さいたま市で卓球大会がありました。この日のために九月から懸命に練習してきたこどもたち。はたして、その練習の成果を出せるのか。それとも発揮できずに終えてしまうのか。期待と不安の中で大会が始まりました。午前中の団体戦では、初戦から順調な戦いが続き

予選A組二位で決勝トーナメント行きを決めました。その決勝トーナメントで、勝てば三位入賞の一番。相手は練習試合で私達に負け、そのリベンジに燃えるぐんま学園です。激しい試合の末、三対二で見事に三位を勝ち取りました。誰一人諦めることなく試合に臨んだことが素晴らしい結果となり本当に嬉しかったです。頑張ってくれた子供たち、そして忙しい中、練習に参加くださった先生方には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。



☆行事報告☆

★里芋・さつまいも収穫

一〇月三〇日・十一月一日
五月に植えたさつま苗も里芋の種芋も、夏の日差しをいっぱい浴び、実りの秋を迎えました。植えるときには茎と葉だけだったさつま芋、

小さかった種芋も、マルチを突き破り土から顔を出すほどに成長していました。子どもたちが優しく土を掘ると、中からは大きなさつま芋がごろごろ。掘り残しのないように丁寧に土を掻き出して、小さな芋や細い芋まで掘り出しました。里芋は、スコップでザクザク掘ると、ダルマの様に大きな塊が出てきてビックリ！子芋を大きな塊から剥がすのがとても大変で、みんなで泥だらけになりましたががんばりました。予想よりも収穫量があり、「結構とれたね」「いつ頃食べられるんだろうね」と会話も弾みました。最後は芋と子どもたちの笑顔で農園がいっぱいになりました。



★収穫感謝祭

十一月六日
豊かな実りへの感謝とともに、収穫感謝祭を開催しました。

学園では、お米をはじめとして野菜や柿・栗などのおいしい作物が学園の畑や農場の近くで収穫されました。感謝祭の餅つきで使われる、もち米は学園の田んぼで、けんちん汁の野菜は畑で、農場担当者が一生懸命育ててくれたものです。児童たちも田植え、野菜の収穫など、ほんの一部ですがお手伝いをしています。

そして、毎日楽しみにしている食事は、栄養科の栄養士さん、調理師さんが心をこめて調理してくれています。毎日おいしいご飯を作っていました。その方々に感謝をする日でもあります。大きな声で感謝の気持ちを伝えました。

いつもおいしいごはんをありがとうございます。そしてご馳走様でした。



★修学旅行（中学三年生）

十一月二〇日～二二日
移動時間を短縮して見学時間を

増やせるよう、今年は京都で二泊三日の修学旅行としました。

初日、京都到着後に清水寺を見学しました。事前から事後まで使えるワークシートを用いたおかげで充実した学習となりました。その後の散策では、食べ歩きやお土産選びを楽しむ無邪気な姿が見られました。

二日目は貸し切りバスでの移動で、専属ガイドさん案内のもと伏見稲荷、二条城、金閣寺、嵐山の渡月橋や天龍寺を見学しました。生徒の素直さやコミュニケーション能力にガイドさんは感心しきり。中には熱心におりにメモを取りながら話を聞く生徒もいました。

三日目には現地の職人さん指導のもと和菓子作り体験を行うとともにおいしい抹茶を立て、いただきました。

宿舍での過ごし方を含め、どの場面を切り取っても生徒のマナーの良さが目立ちました。修学旅行での経験が今後の成長につながるよう、適切な指導や支援を続けていきたいと思っています。



★修学旅行（小学六年生）

十一月二八日～二九日

東京方面へ一泊二日の修学旅行に行きました。初日は、はとバスを利用してスカイツリー・浅草・昼食・東京タワーの見学です。スカイツリーでは展望台から東京周辺の風景を堪能でき、ガラス床に立つてその高さも実感しました。浅草では外国人の言葉が飛び交う仲見世通りを歩き、おみくじや人気のお菓子を楽しみました。バスツアーながら見学時間内で結構な距離（二〇km以上）を歩いたと思います。

二日目は国会議事堂と国立科学博物館の見学でした。複雑な地下鉄駅の通路を味わいながら国会議事堂に着くと、警察のバスがずらり。天皇陛下のお出ましのため見学制限で大混雑中。見学受付所では「午前中はもう無理。午後も何時なら見学可能か確約はできない」とのことなので、議事堂を一周し外観の見学としました。科学博物館では、多様な多くの展示物に圧倒されました。こどもたちはお土産も買えて、楽しい思い出となったようです。



★クリスマス会

十二月一日

クリスマス会の実施に向け、環境整備や寮発表の準備など、職員と児童が一体となって行いました。

寮発表については、限られた時間の中で各寮の色を存分に発揮し、頑張って準備してきた成果が見られる発表となりました。保護者や来賓の方も出席されるため、どの児童にも緊張が見られました。しかし、その緊張をはね除けるように、すばらしい演技を披露することができ、そこにも児童の成長を感じられるものとなりました。

吹奏楽の発表では、関東少年文化祭に続き、良き発表の場となりました。保護者の方の中にはお子さんの楽器を吹く姿に感動され、涙する方もいらつしやいました。クリスマス会を通じて、児童の成長を披露できる場となり、とても良い会となったと思います。



★席書大会

一月八日

冬休み明けの今日、席書大会が行われました。

ねらいは三つ。

- 一、伝統文化に触れる
 - 二、集中力や協調性を育てる
 - 三、意欲的に一年のスタートを切る
- こどもたちはとてもよく取り組んでいました。

伝統文化に触れてほしく、練習の時に毎回水から墨をすることはやはりすぎだったかしら。

「集中力や協調性」のために、一時間に三枚で書き上げることや、その三枚のうち失敗した二枚を使って硯の掃除をすることは大変だったかしら。

「意欲的に」なれるために、漢字検定出題範囲を念頭に置いて課題の四文字熟語を選んだから、結構難しい言葉になってしまったかしら。

と、練習期間のなかでの自分を振り返っている今日この頃です。

★新年昼食会

一月八日

学園の児童、職員、分校の教員が集まり新年昼食会を開催しました。新年昼食会は新年の決意を新たに、新年の挨拶もかねて会食をします。

ランチルームに集まり、皆でお寿司や豚汁をいただきながら新年をお祝います。午前は分校で席書大会が開催され、こどもたちは晴れ晴れとした表情で座っています。会食が始まると、冬休みで久しぶりに顔を合わせたこともあり、会話も弾み、沢山の笑顔がみられました。いつもとは違う雰囲気です。食事をいただきながら和やかに会食が進み、皆で良い時間を過ごすことができました。

気持ちを新たに、良いスタートになりました。こどもたちが自分の課題に向かって前向きに取り組む、良い一年になって欲しいと思っています。

★スキー教室

一月一七日・二四日

スキーの経験者と未経験者が半々となる児童・生徒の期待と不安のなか、二日間のスキー教室が開催されました。

今回は、経験の有無で班を編制、それぞれにスキースクール指導員をお願いし、安全に技能が向上できる活動となるよう企画しました。

初日は吹雪の中、二日目は晴天の中、こどもたちは、丁寧な指導を受

けるなかで、技能の向上を実感することができました。スピード感の面白さや恐怖、技能の難しさや自然への畏怖を味わうことができました。公共施設での過ごし方も身に付けることができました。

こどもたちの振り返りでは、満足感や達成感がきかれ、冬スポーツへの親しみが深められ、それを生かす姿勢が感じられました。



今後の予定

三月 一〇日 卒業を祝う式

三月 一四日 じゃがいも植え

三月 二四日 修了式



編集後記

高原山から吹き下ろされる厳しい北風のなかに、日いちにちと日差しの暖かさが感じられ、春はもうそこまできています。

皆様にあたたかく見守られながら成長した那須学園のこどもたちは、これから、それぞれの目標に向かって歩みはじめます。

本年度も様々なご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。今後もこどもたちにあたたかいご声援をよろしく願っています。

育成課 平野・芝・関